

THE UNACKNOWLEDGED TERROR

By Steven M. Greer M.D.

Copyright 2002

認められざるテロ

スティーブン・M・グリア 医師

著作権 2002 年

([公開プロジェクトのウェブサイトより](#))

今から 10 年ほど前、私は '認められざる特殊接近プロジェクト (Unacknowledged Special Access Projects) ' または USAPs として知られる、軍、情報機関、企業世界の内部深くに隠された闇の不法プロジェクトという範疇を知った。これらの USAPs の最も嚴重に保持され、機密にされている最重要部分は、いわゆる UFO、地球外知性体、新エネルギーの分野を扱うものである (本著者による著作 'Disclosure [公開]' の中の 'Unacknowledged [認められざるもの]' を見よ)。

我々は、公開プロジェクトを立ち上げるまでの数年間、UFO に関連する事象およびプロジェクトを証言する 400 人を超える軍、情報機関、企業の証人たちを確認した。この調査で知った最も憂慮すべきことの一つは、そのような証人たちがこの秘密の執行者たちから受けていると報告する恐怖、虐待、拷問、脅し、および嫌がらせの一貫したパターンである。死と死の脅威、誘拐と自由剥奪のパターンは繰り返し現れ、この不法プロジェクトという特定区分の恐るべき性質を裏付ける。

これらの個々の報告 - 真実を隠蔽しようとする輩の死に物狂いさを証言する報告 - は恐ろしいものだが、さらに大きなある恐怖が、次の事実の中に潜んでいる: 我々が知る世界は、そうになっていたかもしれない、またそうしていなければならなかった世界の、淡い影である。

私がこのように述べるその意味は、世界は認められざるテロ (Unacknowledged Terror) の中に生きている、ということなのである - つまり、恐るべき貧困、破壊、死、戦争、暴力行為、不正、そして無知というテロ - これらのすべてが、我々の運命を支配しようとする輩により仕組まれている。

もし我々が、先進工業国の麻痺した中流階級の快適さからほんの一瞬でも外に踏み出し、周囲のより広い世界をありのままに見つめるならば、我々は無数の苦難、病気、貧困、環境破壊を目にすることになる。この心像はその大部分が我々の潜在意識の近くに追いやられているが、合理的な是正または解決が不可能と思われる現実があることを我々に気付かせる。社会通念では、我々が目撃する世界は、解決不能ゆえにそのほとんどが考慮の域外

に置かれている、苦難の世界だ。しかし、これは本当か？ - それとも単にもう一つの恐ろしい虚構にすぎないのか？

証拠、証言、および事実は、それが後者であることを確証するだろう。すなわち、世界は人為的に貧困と紛争の状態に置かれている - そしてその解決策は、組織的に、狂気と悪意をもって、それを待ち望む世界に公表されることを阻まれてきた。

私個人は医師という職業とそれによって得られる世俗的な快適さ - つかの間の満足だとしても - を諦めた。なぜならば、世界の最も差し迫った諸問題の多くに対する根本的解決策が、組織的かつ冷酷に公表を阻まれているという、素晴らしくも恐ろしい現実を知ってしまったからである。しかし、今我々が公開に向けて奮戦努力しているこの情報を世界に伝えようとして、多くの人々が命を奪われてきた：人類は宇宙で孤独ではない；ある強力な国際的グループが、この事実を世界の人々から隠している；世界を新生させる科学、技術、エネルギー発生システム、および推進システムが、‘認められざる特殊接近プロジェクト (USAPs)’ という極秘の世界に存在している。

このような世界になっていたはずだと知って、あなたは嘆くかもしれない：平和、安全、豊饒、正義、自然との調和が約束された世界。もし我々が手を携えて果敢に闘っていたならば、我々はこの世界を 50 年前 - いや 100 年前 - に手にしていたはずなのだ。だが、新しい千年紀の始まりに、我々はこの浪費された世界に驚き立ちすくみ、どうしてこのようなことになったのかと訝しんでいる。

しかし過去を嘆き悲しんでも、我々のすべてが創造しようと切望するよき未来が現れることはない。我々はともに合流し、どのような犠牲を払ってでも、個人的犠牲がどれほどあろうとも、真実を世に知らしめる決意をしなければならない。その真実は、傷口を縫い合わせ、世界を癒し、持続可能な文明を築き、揺るぎない平和の時代の到来を告げるだろう。

世界はテロに苦しんでいる。しかしその大部分は、認められざるテロである。ことわざにある鍋の中の茹で蛙のように、我々は周りを取り巻く本当のテロに気付いていない - 今日いたる所で語られるそのテロの起源についても。

我々は、世界に公表されずにきた秘密、人類が貧困、戦争、環境破壊を終わらせることを可能にする秘密、神意が我々のために望む世界を実現する秘密を、公開しなければならない。我々が果たさなければならない役割に疑いを持たぬようにしよう。地球上であれ地球外の世界であれ、我々のためにそれをしてくれる者はいないからである。これまであまりにも長く待たれていた我々自身の取り組みを推し進めるのは、我々自身にかかっている。

驚くべき途方もない実益を生み出す科学 - これが国家安全保障や神といった、そのときに都合のよい策略の陰に隠れ、組織犯罪として振る舞う闇の活動の暗黒世界にしまい

込まれてきたのである。しかし真実を言えば、UFO、秘密のエネルギーおよび推進システム、世界的な経済覇権および支配という、この認められざる世界は、安全、平和、神とはほとんど関係がない。むしろそれは、恐怖、貪欲、搾取と結びついている。そしてそれを終わらせる時は、とうに過ぎているのだ。

証拠、証言、および事実は、人類がすでに貧困、死、環境破壊、戦争という、静かなテロを根絶するためのあらゆる知識、科学、手段を自らに与えていることを証明するだろう。我々の周囲に充満する電磁気エネルギーから無限のパワーを引き出すエネルギーシステムは、数十年間存在し続けてきた - 悪意をもって USAPs という暗黒世界にしまい込まれるだけのために。貧困と不正 - またそれゆえに大部分の戦争と破壊の根源 - を撲滅する手段は、癒しを緊急に必要とする苦難の世界から組織的に隠されてきた。だから、もし我々が一体となり、平和裡にそれを行なうことができさえすれば、事実上無限の多様性と可能性を秘めた諸世界を探索し、享受することは、我々の手の届くところにあるのである。

それゆえに大テロ (The Great Terror) とは、人類と地球が受けている不要の苦しみのことである。そして、貧困、病気、苦難の中で生まれ、死んでゆく数十億の人々は、おそらくは我々自身が人為的に作り出している現実である。その苦難と無知の中から無数の憎しみが生まれ、9/11 の恐怖もまたそうして生まれた。

公開プロジェクト (<http://www.disclosureproject.org>) は SEAS (Space Energy Access Systems, Inc.) (*現在は Orion Project に継承されている) と共に、我々が世界を新生させることができるように、その知識と技術を明るみに出す努力をしている。恐ろしい秘密の箱がこじ開けられ、真実がすべての人々に知られなければならない。そして、世界は癒されなければならない。

我々に合流していただけるだろうか？

(訳： 廣瀬 保雄)